

第2次福津市環境基本計画（第1部）実績報告書

※黄色の欄はB以下の評価だった取り組み、青色の欄は昨年度から評価が変わった取り組みです。

議題① 参考1

施策	施策名	市の取り組み	担当課	実施計画 (具体的施策及び方針)	評価基準				評価点	評価の理由と改善策	評価点	評価の理由と改善策		
					A+ 100%以上	A 100%	B 50%	C 0%						
1	生物多様性の保全	生物多様性ふくつプランの計画的な実行(重点プロジェクト)	うみがめ課	計画推進のためにPDCAの進行管理のもと実行の遂行を図る。	生物多様性ふくつプランの目標達成のために、それぞれが具体的な計画を立て、全ての計画を実行した。	生物多様性ふくつプランの目標達成のために、それぞれの具体的な計画を立て、一部の計画を実行した。	生物多様性ふくつプランの目標達成のために、具体的な計画について全く議論されていない。	B	理由：一部の計画の実行はできていない。計画の優先順位をつけるには至らず。 改善策：今後、計画の優先順位をつけてロードマップを作成しながら計画的に実行する。	B	理由：一部の計画の実行はできていない。計画の優先順位をつけるには至らず。 改善策：今後、計画の優先順位をつけてロードマップを作成しながら計画的に実行する。	1		
		市民や市民団体、事業者などと連携した市全域の生き物の生息・生育環境に関する情報収集を行うためのしくみづくりの検討	うみがめ課	市内で開催される環境学習や環境トラスト会議、環境フォーラムなどにて市全域の生き物の生息・生育環境に関する情報収集できる仕組みづくりを検討していく。	市民や市民団体、事業者などと連携した市全域の生き物の生息・生育環境に関する情報収集を行い、仕組みづくりの検討を行った。	市民や市民団体、事業者などと連携した市全域の生き物の生息・生育環境に関する情報収集の検討を行った。	市民や市民団体、事業者などと連携した市全域の生き物の生息・生育環境に関する情報収集を行っていない。	A	理由：環境フォーラムや環境シンポジウムを通じて情報収集を行えている。	A	理由：環境フォーラムや環境シンポジウムを通じて情報収集を行えている。	2		
		希少動植物や特定外来生物に関する情報の把握及び発信するしくみをつくる※	うみがめ課	希少動植物や特定外来生物に関する情報を国や県から収集し、市民へわかりやすく整理して情報発信していく。	希少動植物や特定外来生物の情報の把握や発信の仕組みを構築した。	希少動植物や特定外来生物の情報を収集し、分かりやすく市民へ発信する仕組みを検討した。	希少動植物や特定外来生物の情報を収集し、分かりやすく市民へ発信する仕組みができていない。	A	市民より希少生物、外来生物に関する情報を収集し、発信する仕組みはできている。国、県などから情報を収集し、ポスター掲示やチラシの配布、SNSでの発信などを通じて情報発信を実施した。	A	市民より希少生物、外来生物に関する情報を収集し、発信する仕組みはできている。国、県などから情報を収集し、ポスター掲示やチラシの配布、SNSでの発信などを通じて情報発信を実施した。	A	市民より希少生物、外来生物に関する情報を収集し、発信する仕組みはできている。国、県などから情報を収集し、ポスター掲示やチラシの配布、SNSでの発信などを通じて情報発信を実施した。	3
		鳥獣による被害に関する情報の把握及び発信	農林水産課	広域鳥獣被害防止計画を継続的に策定し、鳥獣による被害に関する情報の把握及び発信していく。	広域鳥獣被害防止計画に基づいて鳥獣被害状況を把握し、鳥獣による被害防止のため市民へ情報発信をする仕組みを構築、実施した。	広域鳥獣被害防止計画に基づいて鳥獣被害状況を把握し、鳥獣による被害防止のため市民へ情報発信をする仕組みについて検討した。	広域鳥獣被害防止計画の継続的な策定ができていない。	A	広域鳥獣被害防止計画により被害状況の把握ができていない。また広報ふくつ(R6.2月号)に鳥獣対策について特集を組み広く市民へ周知を図ることができた。	A	広域鳥獣被害防止計画をもって被害状況の把握及び発信ができていない。	A	広域鳥獣被害防止計画をもって被害状況の把握及び発信ができていない。	4
		鳥獣被害などの防護対策を支援	農林水産課	広域連絡協議会(宗像市・福津市・岡垣町)、鳥獣加工処理施設(宗像市・福津市・宮若市・岡垣町)を設置し、鳥獣被害などの防護対策や有害鳥獣を処理するなどの支援を実施していく。	鳥獣被害対策への市民の需要や被害情報を反映した防護対策の支援を実施した。	鳥獣被害対策への市民の需要の反映は不十分だが、現状の被害情報を把握し、防護対策の支援を実施した。	鳥獣被害対策への市民の需要や被害情報をもとにした防護支援策の検討・実施ができていない。	A	鳥獣被害対策への市民の需要や被害情報により、市内の発生、駆除の状況や市民が可能な防護対策等を広報やHPに掲載し支援を図った。また昨年度に継続してアナグマについて対策等のチラシを作成し、市民の自衛手段について対策を行った。	A	森林管理署との協定などにより、くくり農などの提供を受けられるよう手配を完了。また特に問題となっているアナグマについて対策等のチラシを作成し、市民の自衛手段について準備を行った。	A	森林管理署との協定などにより、くくり農などの提供を受けられるよう手配を完了。また特に問題となっているアナグマについて対策等のチラシを作成し、市民の自衛手段について準備を行った。	5
2	豊かな自然環境の保全・再生	福津市まちづくり計画などに基づいて積極的な自然環境の保全	うみがめ課	整合性を図るために、担当課と連携し、市全体で自然環境の保全への取り組みを実施していく。	福津市まちづくり計画と環境基本計画に基づいて、他課と連携した自然環境の保全を実施している。	自然環境の保全に向けて、担当課と協議を行い、計画の整合性を図ることができ、他課との連携が一部できている。	自然環境への保全について総合計画と環境基本計画の整合性について担当課と協議できていない。	B	理由：気候変動の影響による地球温暖化とそれに対する対策の必要性について関係課と協議を行った。 改善策：他課との連携を図るため令和6年度から脱炭素のための連携会議を構築する。	B	理由：まちづくり推進室や関係課と連携を取りながら、必要に応じて進捗状況等の内容の確認を行った。 改善策：他課と連携し、自然環境の保全に具体的に取り組む。	B	理由：まちづくり推進室や関係課と連携を取りながら、必要に応じて進捗状況等の内容の確認を行った。 改善策：他課と連携し、自然環境の保全に具体的に取り組む。	6
		小学校や市民団体と共働による、自然環境活用などの取り組みの継続的な実施	うみがめ課	海岸・河川・松林・大峰山・干潟などの市内の自然環境を活用し、小学校や市民団体と共働による取り組みとして環境保全活動や環境教育を継続的に実施していく。	市内の小学校で市民団体や市と共働し、自然環境を活用した取り組みが継続的に実施している。	市内の小学校で市民団体と共働し、自然環境を活用した取り組みを検討し実施した。	小学校や市民団体の共働による、自然環境活用の取り組みの実施ができていない。	A	環境フォーラムや環境シンポジウムのほか、郷育カレッジなどで各環境を学習の場として利用し、市内の小中学校・市民団体・地域との共働による、自然環境を活用した取り組みができていない。	A	環境フォーラムや環境シンポジウムのほか、郷育カレッジなどで各環境を学習の場として利用し、市内の小中学校・市民団体・地域との共働による、自然環境を活用した取り組みができていない。	A	環境フォーラムや環境シンポジウムのほか、郷育カレッジなどで各環境を学習の場として利用し、市内の小中学校・市民団体・地域との共働による、自然環境を活用した取り組みができていない。	7
		市民団体、各郷づくり推進協議会や専門家などとの様々な環境の保全に関する協議の推進	うみがめ課	自然環境に関する管理方法や情報提供など、市民団体の取り組みへの支援等を含めた環境保全に関する協議を必要に応じて市民団体や各郷づくり推進協議会や専門家などで行っていく。	市民団体、各郷づくり推進協議会、専門家などと環境保全に関する協議を実施した。	市民団体、各郷づくり推進協議会、専門家などと環境保全に関する協議を検討した。	市民団体、各郷づくり推進協議会、専門家などと環境保全に関する協議について検討していない。	A	里山、海岸、河川、干潟などの環境の保全において市民団体、郷づくり推進協議会や関係機関の専門家などと連携し、必要に応じて協議を行った。	A	里山、海岸、河川、干潟などの環境の保全において市民団体、郷づくり推進協議会や関係機関の専門家などと連携し、必要に応じて協議を行った。	A	里山、海岸、河川、干潟などの環境の保全において市民団体、郷づくり推進協議会や関係機関の専門家などと連携し、必要に応じて協議を行った。	8
		農業や化学肥料の適正な使用など、環境保全型農業に関する調査・研究の実施	農林水産課	普及所や農協と連携し、農業や化学肥料の適正な使用など市内の環境保全型農業の啓発、取り組みの実態を把握していく。	普及所や農協と連携し、市内の環境保全型農業の実態について経年把握する仕組みを構築、実施した。	普及所や農協と連携し、市内の環境保全型農業の実態について把握した。	市内の環境保全型農業の実態について把握できていない。	A	福岡県堆肥利用拡大によるワンヘルズ推進事業を活用し、化学肥料削減を目的とした堆肥散布機械の補助事業に組み込み、環境保全型農業への取り組みを実施した。	B	理由：普及所や農協と連携し、市内での環境保全型農業の実態調査を実施し、把握した。 改善策：減農薬への取り組みについての県補助等の適用も検討する。	B	理由：普及所や農協と連携し、市内での環境保全型農業の実態調査を実施し、把握した。 改善策：減農薬への取り組みについての県補助等の適用も検討する。	9
		自然公園法などの関係法令に基づいた自然環境の保全	うみがめ課	自然公園法などの法令に基づき、関係機関と連携しながら市民への情報提供及び、適切な規制を行う。	自然公園法などの関係法令に基づき、市内の自然環境の維持・保全を実施した。	自然公園法などの関係法令が適用される市内の場所を把握した。	市内に適用される関係法令について把握できていない。	A	自然公園法や森林法などを踏まえ適切な規制や保全を行っている。	A	自然公園法や森林法などに基づいた適切な対処ができた。	A	自然公園法や森林法などに基づいた適切な対処ができた。	10
		森林維持や整備活動に関する取り組みの支援及び森林保全活動の推進	農林水産課 うみがめ課	荒廃森林整備事業を実施することで、森林維持に努める。また、森林活動保全の推進に努める。	森林維持や整備活動に関する取り組みを支援し、森林保全活動の推進を実施した。	森林維持や整備活動に関する取り組みへの支援・森林保全活動の推進について検討した。	森林維持や整備活動に関する取り組みへの支援・森林保全活動の推進について検討できていない。	A	手光地区の特定調査及び本木地区において山林整備を実施した。	A	荒廃森林整備事業により、本木地区の山林保全を実施した。	A	荒廃森林整備事業により、本木地区の山林保全を実施した。	11
		郷育カレッジの講座や環境学習などの取り組みの継続的な実施	うみがめ課 郷育推進課	福津市の自然環境に関する講座を郷育カレッジ講座やまちづくり出前講座などで継続的に実施していく仕組みを構築していく。	郷育カレッジの講座や環境学習などの取り組みの継続的な実施した。	郷育カレッジの講座や環境学習などの取り組みの継続的な実施を検討した。	郷育カレッジの講座や環境学習などの取り組みの継続的な実施ができていない。	A	小・中学校にて環境学習を計6回行った。郷育カレッジでは、様々な分野での講座を展開し、環境分野は全体の1割を占めている状況である。	A	小・中学校にて環境学習を計9回行った。郷育カレッジでは、様々な分野での講座を展開し、環境分野は全体の1割を占めている状況である。	A	小・中学校にて環境学習を計9回行った。郷育カレッジでは、様々な分野での講座を展開し、環境分野は全体の1割を占めている状況である。	12
		市民団体の取り組みで得られた自然環境に関する情報を活用したしくみづくりの検討	うみがめ課	市民団体の取り組みで得られた自然環境に関する情報を、環境フォーラムや環境シンポジウム等で収集し、自然環境の保全・再生に活用する仕組みづくりを検討していく。	市民団体の取り組みで得られた自然環境に関する情報を活用する仕組みづくりを検討した。	市民団体の取り組みを把握し、仕組みづくりの検討を行った。	市民団体の取り組みを把握できていない。	A	市民団体の取り組みで得られた情報を把握し、環境学習や環境フォーラム、環境シンポジウムにて発信したり、保全活動を行ったりと活用する仕組みができていない。	A	市民団体の取り組みで得られた情報を把握し、環境学習や環境フォーラム、環境シンポジウムにて発信したり、保全活動を行ったりと活用する仕組みができていない。	A	市民団体の取り組みで得られた情報を把握し、環境学習や環境フォーラム、環境シンポジウムにて発信したり、保全活動を行ったりと活用する仕組みができていない。	13
		自然環境に関する普及・啓	うみがめ課	自然環境の取り組みについて情報収集や情報収集のための仕組みを検討するために、各関係課との連携を図る。また市民団体については、環境フォーラムや環境シンポジウム、トラスト会議等を通じて、情報収集や仕組みを検討していく。	郷育カレッジの講座や環境学習などの取り組み、市民団体が行っている自然環境に関する取り組みの情報収集を実施し、情報収集の仕組みを検討した。	郷育カレッジの講座や環境学習などの取り組み、市民団体が行っている自然環境に関する取り組みの情報収集の検討を行った。	郷育カレッジの講座や環境学習などの取り組み、市民団体が行っている自然環境に関する取り組みの情報収集ができていない。	A	郷育カレッジや環境学習に関しては、担当課と連携を図りながら情報収集を実施し、継続的に情報収集する仕組みができていない。また、環境フォーラム、環境シンポジウムで、市民団体の取り組みの発表等を継続的に取り入れる仕組みができていない。	A	郷育カレッジや環境学習に関しては、担当課と連携を図りながら情報収集を実施し、継続的に情報収集する仕組みができていない。また、環境フォーラム、環境シンポジウムで、市民団体の取り組みの発表等を継続的に取り入れる仕組みができていない。	A	郷育カレッジや環境学習に関しては、担当課と連携を図りながら情報収集を実施し、継続的に情報収集する仕組みができていない。また、環境フォーラム、環境シンポジウムで、市民団体の取り組みの発表等を継続的に取り入れる仕組みができていない。	14

施策	施策名	市の取り組み	担当課	実施計画 (具体的施策及び方針)	評価基準			評価点	評価の理由と改善策	評価点	評価の理由と改善策	
					A+	A	B					
					100%以上	100%	50%					
	発・情報共有の推進	生態系サービスの享受を脅かす「アサリの乱獲」の問題など、自然環境の悪化を防ぐための利用に関する普及・啓発	うみがめ課	福津市の生物多様性について、正しい理解や周知に努め、持続可能に生態系サービスを享受できる取り組み、人の利用について環境フォーラムや出前講座、シンポジウム等で普及啓発に取り組んでいく。	アサリの乱獲の問題など、自然環境の悪化を防ぐため人の利用に関する普及・啓発を実施した。	アサリの乱獲の問題など、自然環境の悪化を防ぐため、人の利用に関する普及・啓発の内容を検討した。	アサリの乱獲の問題など、自然環境の悪化を防ぐため人の利用に関する普及・啓発ができていない。	A	フォーラムにて工作体験やパネル展示、シンポジウムにて市民団体が発表による啓発を行った。また、環境学習等にて「ふくつの自然を考える本」を活用した啓発を行った。	A	フォーラムにて工作体験やパネル展示、シンポジウムにて市民団体が発表による啓発を行った。また、環境学習等にて「ふくつの自然を考える本」を活用した啓発を行った。	
4	省エネルギー型ライフスタイルビジネススタイルへの転換	庁舎、さらには学校など市全体でエコオフィスプランに基づいた省エネルギー対策の推進	管財課 うみがめ課	第4次福津市エコオフィスプランを策定し、市庁舎や学校などの公共施設全体の温室効果ガスの削減目標値や、その他の項目として紙用品類使用量と上水道使用量の削減目標などを掲げ、省エネルギー対策の推進に努める。	第4次福津市エコオフィスプランで設定した、温室効果ガス総排出量の削減目標及び個別の目標全て達成することができた。	第4次福津市エコオフィスプランで設定した、温室効果ガス総排出量の削減目標及び個別の目標、全8項目中4項目以上達成することができた。	第4次福津市エコオフィスプランで設定した、温室効果ガス総排出量の削減目標及び個別の目標、全8項目中3項目以下達成した。	C	現在8項目中、2項目の目標を達成している。前年度より達成項目が増加しているものの、令和2年度（基準年度）と比較し、夏季の気温が高いことや社会活動が再開したこと等の影響もあり、多くの項目で未達成となった。	C	現在8項目中、達成項目は0である。令和2年度（基準年度）と比較し、夏季の気温が高く、空調稼働のための動力を要したため、多くの項目で未達成となった。	
		省エネルギー対策に関する継続的な情報提供及び啓発	うみがめ課	環境フォーラムにて地球温暖化防止活動推進員と連携して環境家計簿（エコファミリー）への登録の推進を図る。また、国や県の取り組みをポスターやチラシ、市のホームページで情報提供していく。	省エネルギー対策に関して市民に対して継続的な情報の提供・啓発活動を行った。	省エネルギー対策に関して市民に対して情報の提供・啓発活動を行った。	省エネルギー対策に関する情報提供及び啓発活動が実施できていない。	A	環境フォーラムでのチラシ配布や、小学校への環境家計簿配布など、「えこふあみ」アプリへの登録者数の増加を図った結果、昨年度の234人から登録者数は234人に増加した。また、庁舎内のみでなく、継続して図書館での環境家計簿の配布を行った。	A	環境フォーラムでのチラシ配布や、小学校への環境家計簿配布など、「えこふあみ」アプリへの登録者数の増加を図った結果、昨年度の234人から登録者数は234人に増加した。また、庁舎内のみでなく、継続して図書館での環境家計簿の配布を行った。	
		「環境にやさしい行動宣言」への市民や事業者、市民団体、教育・研究機関の参加の推進	うみがめ課	「環境にやさしい行動宣言」を環境フォーラムなどの環境啓発イベントや出前講座、エコショップ認定制度の中で推進を図っていく。	環境にやさしい行動宣言を行うことで、一人一人が宣言を考える事だけでも、環境への意識向上のきっかけとなった。	「環境にやさしい行動宣言」への市民や事業者、市民団体、教育・研究機関の参加の推進を行った。	「環境にやさしい行動宣言」への市民や事業者、市民団体、教育・研究機関の参加への方法を検討した。	「環境にやさしい行動宣言」への市民や事業者、市民団体、教育・研究機関の参加ができていない。	A	福津市エコショップ認定制度において、省エネ機器又は省エネ設備・システムの販売、導入や再生可能エネルギーの導入など「環境にやさしい行動宣言」を行う仕組みが構築されている。	A	福津市エコショップ認定制度において、省エネ機器又は省エネ設備・システムの販売、導入や再生可能エネルギーの導入など「環境にやさしい行動宣言」を行う仕組みが構築されている。
		省エネルギー対策の取り組みに関する調査・研究の実施	うみがめ課	国、県の施策を調査し、市の省エネルギー対策の方針を検討していく。	省エネルギー対策の取り組みに関する調査・研究を実施した。	省エネルギー対策の取り組みに関する調査・研究の内容を検討した。	省エネルギー対策の取り組みに関する調査・研究が行われていない。	A	先進的な取り組みをしている再生可能エネルギー関連企業や先進的な取り組みをしている周辺自治体に聞き取りを行った。また、民間事業者や行政の参加する勉強会に参加し省エネルギーの取り組みに関する調査・研究を行った。	B	理由：方針決定の参考とするため、先進的な取り組みをしている再生可能エネルギー関連企業や周辺自治体に聞き取りを行い、省エネルギーの取り組みに関する調査・研究内容を検討した。 改善策：省エネルギー対策について具体的に調査・研究を実施する。	
5	交通における省エネルギー対策の推進	ホームページでの省エネルギー対策に関する情報提供の継続的な実施、広報誌やかんきょう新聞などの、その他のメディアにおける情報提供、運転手の意識向上のための取り組みの推進	うみがめ課	国や県が取り組んでいるエコドライブの実践や交通に関する省エネルギー対策の情報発信を市のホームページや広報誌等を活用して情報提供し、取り組みの推進をしている。	交通における省エネルギーに関する情報提供を実施した。また運転手の意識向上のための取り組みの検討を行った。	交通における省エネルギーに関する情報提供の方法を検討した。	交通における省エネルギーに関する情報提供ができていない。	A	国、県などからの情報を収集し、ホームページにて情報提供した。また、公共機関等での環境家計簿の配布、かんきょう新聞の発行、庁舎内や環境フォーラムなどでのチラシの配架やポスター掲示などを通じて情報発信を行った。	A	国、県などからの情報を収集し、ホームページにて情報提供した。また、公共機関等での環境家計簿の配布、かんきょう新聞の発行、庁舎内や環境フォーラムなどでのチラシの配架やポスター掲示などを通じて情報発信を行った。	
		公共施設などに再生可能エネルギー設備、機器の導入の検討	うみがめ課	公共施設において、再生可能エネルギー設備や機器の導入について、担当課と連携を図りながら補助金等を含めた情報提供を行う。	公共施設などに再生可能エネルギー設備・機器の導入を実施した。	公共施設などに再生可能エネルギー設備・機器の導入を検討した。	公共施設などに再生可能エネルギー設備、機器の導入の検討ができていない。	B	理由：再生可能エネルギー関連企業に聞き取りを行い、その内容を契約管財課と共有しながら導入の検討を行った。 改善策：他課と連携し、設備・機器導入の際に再生可能エネルギーを積極的に導入するようはたらきかける。	B	理由：再生可能エネルギー関連企業に聞き取りを行い、その内容を契約管財課と共有しながら導入の検討を行った。 改善策：他課と連携し、設備・機器導入の際に再生可能エネルギーを積極的に導入するようはたらきかける。	
		市民や事業者、市民団体、教育・研究機関に対して太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入に関する情報提供の実施	うみがめ課	国や県などからの再生可能エネルギーの導入に関する情報を収集し、市民や事業者、市民団体、教育・研究機関に対して情報提供を行っている。	市民や事業者、市民団体、教育・研究機関に対して太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入に関する情報提供を実施した。	市民や事業者、市民団体、教育・研究機関に対して太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入に関する情報収集し整理した。	市民や事業者、市民団体、教育・研究機関に対して太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入に関する情報提供ができていない。	A	新設校の検討にあたり太陽光に対する国の補助や近隣の取組について一緒に説明を受けたり、企業からの情報提供を行い協議した。	B	理由：国や県・事業者などの取り組みを通じて再生可能エネルギー等に関する情報を収集し整理を行った。 改善策：市民や事業者、市民団体、教育・研究機関から情報を求められた場合、積極的に情報提供を行う。	
6	再生可能エネルギー設備の導入の推進	景観に配慮した再生可能エネルギー設備、機器の導入の検討	うみがめ課	福津市景観計画の景観形成基準に基づき、また、生物多様性の面からみた景観への配慮を促すよう関係課と連携を図りながら導入の検討を行う。	景観に配慮した再生可能エネルギー設備、機器の導入の検討を行った。	景観に配慮した再生可能エネルギー設備、機器の導入について、情報収集を行った。	景観に配慮した再生可能エネルギー設備、機器の導入の検討ができていない。	A	理由：近隣のため池への太陽光設置の取組について情報共有をおこなったり、新設校の太陽光設置や財政部門と協議を行い、導入の検討を行った。 改善策：今後は相談があるのを待つのではなく、こちらから施設管理部門に情報提供をしていく。	B	理由：近隣のため池への太陽光設置の取組について情報共有をおこなったり、新設校の太陽光設置や財政部門と協議を行い、導入の検討を行った。 改善策：今後は相談があるのを待つのではなく、こちらから施設管理部門に情報提供をしていく。	
		各種機関や事業者、近隣市町村との共働による、生ごみや剪定くずを活用したバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギー利用に関する調査・研究の実施	うみがめ課	各種機関や事業所、近隣市町村と連携し、生ごみや剪定くずを活用したバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギー利用に関する情報収集を行い、利用に向けた調査研究を検討した。	各種機関や事業者、近隣市町村との共働による、生ごみや剪定くずを活用したバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギー利用に関する調査研究の実施を行った。	各種機関や事業者、近隣市町村との共働による、生ごみや剪定くずを活用したバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギー利用に関する調査研究を検討した。	各種機関や事業者、近隣市町村との共働による、生ごみや剪定くずを活用したバイオマスエネルギーなどの再生可能エネルギー利用に関する調査研究ができていない。	A+	家庭から排出される生ごみの有効利用として、うみがめ課にダンボールコンポストを設置し、屋内で利用可能か実験した。結果はダンボールコンポストでコナダニが大量発生したことから、室内での利用は難しいことが分かった。	B	理由：太陽光、剪定くずを活用したバイオマスエネルギーについて、市内で発生した剪定くずの処分や市内のバイオマスエネルギー発電事業などについて関連事業者と協議を実施し、調査研究の検討を行った。 改善策：市内のエネルギーの実態について具体的な調査研究を行うため、計画策定関連事業者などと連携する。	
		一般廃棄物処理基本計画の改定	うみがめ課	平成29年度から計画素案の作成に着手、平成30年度に市民意見公募を実施し、その意見をもとに環境審議会、庁議、全員協議会等に諮り、平成31年3月に改訂版を策定する。	一般廃棄物処理基本計画を改定し、市内のごみの減量を推進した。	一般廃棄物処理基本計画を改定した。	一般廃棄物処理基本計画を改定するため、情報を収集し改定作業を行った。	一般廃棄物処理基本計画の改定について検討した。	A+	計画の中間見直しを行い、全体的に見直しを行った。	A+	計画の中間見直しを行うための家庭ごみの組成調査を実施した。
8	ゴミの減量	「福津市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」に基づいた、廃棄物の抑制、適正処理及び、ゴミの減量に関する啓発活動の実施	うみがめ課	「家庭ごみの出し方」パンフレット、市広報、ホームページ等にて、なるべく詳細なデータを用いて啓発する。 「福津市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」に基づいた、廃棄物の抑制、適正処理に関する啓発活動を行い、廃棄物の減量・適正処理につながった。	「福津市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」に基づいた、廃棄物の抑制、適正処理及び、ゴミの減量に関する啓発活動を行った。	「福津市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」に基づいた、廃棄物の抑制、適正処理及び、ゴミの減量に関する啓発活動を検討した。	「福津市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」に基づいた、廃棄物の抑制、適正処理に関する啓発活動ができていない。	A+	環境啓発イベント等にて実施や分別収集の意識向上を図るため職員の巡回や家庭ごみの出し方パンフレット等の見直しを行った。	A	環境啓発イベント等にてダンボールコンポスト講座を実施や分別収集の意識向上を図るため職員の巡回や家庭ごみの出し方パンフレット等の見直しを行った。	
		災害廃棄物処理の再資源化のための分別方法や、粗大ごみや腐敗廃棄物の排出方法などの検討、災害廃棄物処理計画の作成	うみがめ課	平成29年度から計画素案を作成し、古賀清掃工場構成市町である古賀市・新宮町と協議を行う。平成30年度に市民意見公募を実施し、その意見をもとに環境審議会、庁議、全員協議会等に諮り、平成31年3月に改訂版を策定する。	災害廃棄物処理計画に基づき、災害廃棄物が適切に処理されるように検討した。	災害廃棄物処理計画を作成した。	災害廃棄物処理計画の作成を検討した。	災害廃棄物処理計画の作成について検討されていない。	A	計画の策定完了。	A	計画の策定完了。
9	災害廃棄物の											

施策	施策名	市の取り組み	担当課	実施計画 (具体的施策及び方針)	評価基準				評価点	評価の理由と改善策	評価点	評価の理由と改善策	
					A+	A	B	C					
					100%以上	100%	50%	0%	R5		R4		
10	物の適正処理 回収・再生利用の推進	災害廃棄物に係る仮置き場設置、収集運搬、再資源化に関する留意事項の検討及び整理	うみがめ課	適当と思われる場所の選定を行い、平成29年度から平成30年度にかけて関係課及び関係業者と協議・協定締結等を行う。その結果を災害処理計画改訂版に盛り込む。	災害廃棄物に係る仮置き場設置、収集運搬、再資源化に関する留意事項のマニュアルを作成した。	災害廃棄物に係る仮置き場設置、収集運搬、再資源化に関する留意事項の検討及び整理を行った。	災害廃棄物に係る仮置き場設置、収集運搬、再資源化に関する留意事項について検討した。	災害廃棄物に係る仮置き場設置、収集運搬、再資源化に関する留意事項について検討及び整理がされていない。	A	災害廃棄物に係る仮置き場設置、収集運搬、再資源化に関する留意事項の検討及び協議を行った。	A	災害廃棄物に係る仮置き場設置、収集運搬、再資源化に関する留意事項の検討及び協議を行った。	28
		各自治会で実施している分別収集に関する円滑な運営に向けた支援	うみがめ課	郷育推進課のまちづくり出前講座による説明や分別収集会場の巡回を行い、直接、実施の仕方を指導し助言等を行う。また、分別収集品目に関する冊子を作り、分別方法をわかりやすくする。		各自治会で実施している分別収集に関する円滑な運営に向けた支援が行われた。	各自治会で実施している分別収集に関する円滑な運営に向けた支援について検討した。	各自治会で実施している分別収集に関する円滑な運営に向けた支援が行われていない。	A	職員が自治会長説明会や公設・地域分別会場への巡回や毎年パンフレットの見直しを行うことで各自治会による円滑な運営が定着している。	A	職員が公設や地域分別会場への巡回や毎年パンフレットの見直しを行うことで各自治会による円滑な運営が定着している。	29
		3Rに関する積極的な啓発活動の実施	うみがめ課	・郷育推進課のまちづくり出前講座、「家庭ごみの出し方」パンフレット、市広報、ホームページ等にて啓発する。 ・エコショップ推進事業の充実をはかる。 ・現在実施している古賀清掃工場の見学会や、分別収集に関するまちづくり出前講座の継続的な実施		3Rを進めるために、市民や事業者、市民団体、教育・研究機関に対して啓発活動を実施した。	3Rを進めるために、市民や事業者、市民団体、教育・研究機関に対する啓発活動を検討した。	3Rを進めるための啓発活動について検討されていない。	A	学校や自治会に出向き、出前講座等を行い、ごみを分別することや物を大切に使うことを伝えた。	A	学校や自治会に出向き、出前講座等を行い、ごみを分別することや物を大切に使うことを伝えた。	30
11	緑の管理と創出	公共エリア環境づくり事業などの既存の制度に基づいた緑化の推進	うみがめ課	アダプト登録団体や市民のボランティア等の協力を得て公園内や道路沿いの植栽など、生態系に配慮した緑の推進を検討していく。		公共エリア環境づくり事業など既存の制度に基づいて、緑化を推進した。	公共エリア環境づくり事業など既存の制度に基づいた緑化を推進する仕組みを検討した。	公共エリア環境づくり事業など既存の制度に基づいた緑化の現状を把握した。	A	環境団体と協議を行い海岸等の現状を確認し、緑化を支援した。	A	環境団体と協議を行い海岸等の現状を確認し、緑化を支援した。	31
		竹林の整備や管理活動に関する取り組みの支援による環境保全活動の推進	うみがめ課 農林水産課	市内の竹林の現状を把握し、荒廃森林整備事業による竹林整備の実施や、管理活動に関する取り組みの支援を通して環境保全活動を推進していく。	竹林の整備や管理活動に関する取り組みの支援によって継続的に環境保全活動が実施されている。	竹林の整備や管理活動に関する取り組みを支援し、環境保全活動が推進した。	竹林の整備や管理活動に関する取り組みの支援について検討した。	竹林の整備や管理活動に関する取り組みが支援されていない。	A	農林水産課は、市内の森林を対象に荒廃森林整備事業において、侵入してきた竹の伐採を行っている。うみがめ課は市内で里山保全を行っている市民団体の竹林整備や管理活動などの情報共有が行うことができた。また、環境フォーラムにて団体の活動を紹介する場を提供するなどの支援を行った。	A	農林水産課は、市内の森林を対象に荒廃森林整備事業において、侵入してきた竹の伐採を行っている。うみがめ課は市内で里山保全を行っている市民団体の竹林整備や管理活動などの情報共有が行うことができた。また、環境フォーラムにて団体の活動を紹介する場を提供するなどの支援を行った。	32
		福津市内での環境保全活動を行う市民団体間の情報の共有	うみがめ課	シンポジウムや会議などを年1回程度行い、市内で環境保全活動を行う市民団体がお互いに取り組みの情報共有を行えるようにしていく。		福津市内で環境保全活動を行う市民団体間で情報共有できる仕組みを構築した。	福津市内で環境保全活動を行う市民団体間で情報を共有した。	福津市内で環境保全活動を行う市民団体間で情報共有する機会がない。	A	理由：環境フォーラムにおいて、ラスト会議を開催し市民団体から情報を提供してもらい共有できる機会を設けた。 また、保健所と一緒にやっているピオトーアの管理の中で生物多様性セミナーや意見交換会を開催し、市内の民間団体と情報共有する機会を	B	理由：環境啓発イベント（環境フォーラム）において、市民団体から情報を提供してもらい共有できる機会を設けた。 改善策：団体間の情報共有については定着してきているが、仕組みづくりに取り組む。	33
12	福津市景観計画の推進	景観計画に基づいた、良好な景観まちづくりの推進	うみがめ課 建設課 都市計画課	景観計画と基本計画の整合性を取りながら良好なまちづくりを行う。		景観計画に基づいて、環境から見た良好な景観まちづくりが推進した。	景観計画に基づいた、環境から見た良好な景観まちづくりについて検討した。	景観計画に基づいた、環境から見た良好な景観まちづくりについて検討されていない。	A	理由：生物多様性に配慮した街路樹の植樹等を検討するため、県との情報共有を行った。 景観計画に基づく届出を通じ、景観まちづくりの推進に取り組んでいる。津島崎千軒区域においては、農村酒造が重要文化財に指定されたため、より一層まちなみの保全に努めたい。	A	理由：生物多様性に配慮した街路樹の植樹等を検討するため、県との情報共有を行った。 改善策：景観計画に基づいた、良好な景観まちづくりの推進に取り組む。	34
		道路などの公共施設の整備における景観まちづくりへの配慮	都市計画課	景観計画に基づき、公共施設等は、関係課と協議、連携し、景観に配慮したまちづくりに取り組む。		道路などの公共施設の整備の際に、関係課と協議し、景観まちづくりへの配慮が実施できている。	景観計画に基づき、道路などの公共施設等の整備における景観まちづくりのためにその都度、関係課と協議、連携を実施した。	景観計画に基づき、道路などの公共施設の整備における景観まちづくりへの配慮ができていない。	A	道路などの公共施設の整備の際に、関係課と協議し、景観まちづくりへの配慮が実施できている。	A	道路などの公共施設の整備の際に、関係課と協議し、景観まちづくりへの配慮が実施できている。	35
		景観まちづくりの意識啓発及び情報の提供	都市計画課	・市ホームページに福津市景観計画を掲載し、市民、業者等に向けて、広く周知及び意識の啓発を図る。 ・市広報紙において、定期的に景観計画のお知らせ記事を掲載し、市民や個人事業者等への周知及び意識の啓発を図る。		景観まちづくりの意識啓発を実施し、情報の提供を行った。	景観まちづくりの意識啓発及び情報提供を行う内容の検討を行った。	景観まちづくりの意識啓発及び情報提供ができていない。	A	市公式ホームページへの掲載や定期的な広報紙を通じて、市民や事業者への周知に努めた。	A	市公式ホームページへの掲載や定期的な広報紙を通じて、市民や事業者への周知に努めた。	36
		景観まちづくりに携わる市民や事業者への支援	都市計画課	市民と共働による違反広告物撤去作業のための講習会の開催や、違反広告物の回収処分等の支援する。		景観まちづくりに携わる市民や事業者への支援を実施した。	景観まちづくりに携わる市民や事業者への支援を検討した。	景観まちづくりに携わる市民や事業者への支援の内容が検討ができていない。	A	講習会や回収物処分等の支援を実施。今後は、市民の登録委員の人数を増やすような取り組みも必要になってくる。	A	講習会や回収物処分等の支援を実施。今後は、市民の登録委員の人数を増やすような取り組みも必要になってくる。	37
13	空き家バンク制度の推進	現地調査の実施による空き家の状態把握	都市計画課	・毎年職員が地域を回り現地確認し、空き家状況の把握する。 ・必要に応じて、自治会や事業者と連携し現況把握する。		市内の空き家状況を把握した。	市内の空き家状況を把握するための調査内容を検討した。	市内の空き家状況を把握するための調査内容を検討できていない。	A	空き家の状態把握調査を踏まえて、定期巡回により実態把握に努めている。	A	空き家の状態把握調査を踏まえて、定期巡回により実態把握に努めている。	38
		空き家所有者の特定、空き家バンク制度の周知	都市計画課	・必要に応じて司法書士会等に依頼し所有者の特定を行う。 ・空き家バンク制度をホームページに掲載し周知を図る。		空き家所有者を特定し、空き家バンク制度の周知を図った。	空き家所有者の特定や空き家バンク制度の周知方法について検討した。	空き家所有者の特定、空き家バンク制度の周知方法の検討ができていない。	A	空き家セミナーを開催し、空き家の問題点につき意識啓発を行い、併せて空き家バンクの周知を行った。	A	広報で空き家特集を組むことにより、空き家の問題点につき意識啓発を行い、併せて空き家バンクの周知を行った。	39
		空き家に関する相談窓口の設置、職員の専門知識や資質の向上	都市管理課	市の相談窓口を都市管理課に設置し、職員の専門知識の習得やスキル向上に向けて努める。		空き家に関する相談窓口の設置、職員の専門知識や資質の向上に向けて実施した。	空き家に関する相談窓口の設置、職員の専門知識や資質の向上への取り組みを検討した。	空き家に関する相談窓口の設置、職員の専門知識や資質の向上への取り組みができていない。	A	地域で取り組む事業所と空き家の現状を共有することで、相談窓口へ反映に努めている。また、福岡県空家対策連絡協議会の研修に参加し職員の資質向上に努めている。	A	地域で取り組む事業所と空き家の現状を共有することで、相談窓口へ反映に努めている。また、福岡県空家対策連絡協議会の研修に参加し職員の資質向上に努めている。	40
		著しく公益に反すると判断した空き家に対して、法及び条例に基づいた適正管理に向けた取り組みの実施	都市計画課	建物崩壊等の適正管理が行われていない場合、法及び条例に基づき、適正管理を実施する。		著しく公益に反すると判断した空き家に対して、法及び条例に基づいた適正管理に向けた取り組みが実施した。	市内の空き家のうち著しく公益に反した空き家を把握した。	市内の著しく公益に反すると判断できる空き家情報を把握できていない。	A	法及び条例に基づき、適正管理を行うよう取り組みを進めているが、所有者不明等で適正管理が行われないケースもある。	A	法及び条例に基づき、適正管理を行うよう取り組みを進めているが、所有者不明等で適正管理が行われないケースもある。	41

施策	施策名	市の取り組み	担当課	実施計画 (具体的施策及び方針)	評価基準				評価点	評価の理由と改善策	評価点	評価の理由と改善策		
					A+	A	B	C						
					100%以上	100%	50%	0%						
快適な生活環境をつくる		特定地域の空き家の活用及び移住支援活動を力を入れている団体との連携	都市計画課	NPO法人等と必要に応じて、空き家の情報交換を行いながらパンフレットを窓口で配布したり、相談に来られた市民を団体へつないだりして支援を行う。	特定地域の空き家の活用及び移住支援活動を行っている団体と連携が取れている。	特定地域の空き家の活用及び移住支援活動を行っている団体を把握し、連携に向けて協議した。	特定地域の空き家の活用及び移住支援活動を行っている団体と連携が取れていない。	特定地域の空き家の活用及び移住支援活動を行っている団体と連携が取れていない。	A	団体と連携し、空き家の利活用を行うことで移住者が増えている。また、共同で空き家セミナーを行い、空き家対策の啓発を行っている。	A	団体と連携し、空き家の利活用を行うことで移住者が増えている。また、共同で空き家セミナーを行い、空き家対策の啓発を行っている。	42	
	14	不法投棄対策	うみがめ課	「福津市空き缶などの散乱防止及びその再資源化の促進に関する条例」などに基づいた、不法投棄対策の実施及び、必要に応じた条例内容の見直しの検討	不法投棄禁止看板の設置、一部自治会や環境指導員、職員による監視パトロールを定期的実施する。また、必要に応じて条例内容の見直しを検討していく。	条例に基づいた不法投棄対策が実施され、条例の見直しについては必要に応じて検討が行われた。	不法投棄対策の内容を検討し、条例の見直しの必要性について検討を行った。	不法投棄対策の検討、条例の見直しについて検討できていない。	A	条例に基づき不法投棄対策を実施している。見直しについて現在必要性がないと判断した。	A	条例に基づき不法投棄対策を実施している。見直しについて現在見直しの必要性がないと判断した。	43	
			うみがめ課	滞存者などに対するごみの持ち帰り運動の呼びかけ	各種イベントや各公共施設の使用時におけるごみの持ち帰りについて、各担当課と連携を図る。	滞存者などに対するごみの持ち帰り運動の呼びかけを実施した。	滞存者などに対するごみの持ち帰り運動の呼びかけの方法について検討した。	滞存者などに対するごみの持ち帰り運動の呼びかけができない。	A	滞存者などが不法投棄する場所に啓発看板を設置した。	A	滞存者不法投棄する場所に啓発看板を設置した。	44	
	15	ペットの適正な飼育と管理	うみがめ課	「福津市人と犬・ねこの共生に関する条例」に基づいた、飼い主によるペットの適正な飼育とふん尿処理などの徹底の推進及び、広報などでの適正な飼育方法の周知	広報誌を活用して、畜犬の糞尿処理・予防注射、野良猫問題について定期的に掲載し、適正な対処方法について周知を図る。	条例に基づいた、飼い主によるペットの適正な飼育とふん尿処理などの徹底の推進を行い、広報などでの適正な飼育方法について周知を図った。	条例に基づいた、飼い主によるペットの適正な飼育とふん尿処理などの徹底の推進及び広報などでの適正な飼育方法の周知について検討した。	条例に基づいた、飼い主によるペットの適正な飼育とふん尿処理などの徹底の推進及び、広報などでの適正な飼育方法の周知ができない。	A	広報誌や市のホームページなどを活用して、定期的な周知を行っている。	A	広報誌や市のホームページなどを活用して、定期的な周知を行っている。	45	
	16	空き地の管理対策	うみがめ課	「福津あき地等管理の適正化に関する条例」に基づいた、空き地の雑草処理など、土地所有者による適正な管理の推進	・あき地等が危険な状態で放置されないよう土地の管理者に対し、適宜、適切な指導をする。 ・指導・勧告・命令文書の発送。地権者宅への直接訪問指導を行い、遠方の地権者については、草刈り業務を受託し、あき地等の適正管理を行う。	条例に基づき、土地所有者に対して適正な管理の促進・指導を行った。	条例に基づき、適正な管理がされていない空き地を把握した。	適正な管理がされていない空き地への対応を検討していない。	A	指導・勧告・命令等の手続きを行い、期日までに改善の措置を行わなかった土地所有者の住所氏名の公表を掲示場や市のホームページで行っている。	A	指導・勧告・命令等の手続きを行い、期日までに改善の措置を行わなかった土地所有者の住所氏名の掲示場での公表を行っている。	46	
	17	共働による地域美化の推進	うみがめ課	清掃道具の貸与や毎月の清掃依頼などを通じた、アダプトプログラム登録団体との共働による公共エリアにおける地域美化の推進	清掃道具の貸与の充実を図るなどして、アダプトプログラム登録団体が活動しやすい環境を支援しながら共働での推進を図る。	アダプトプログラム登録団体と共働し、公共エリアにおける地域美化を推進した。	アダプトプログラム登録団体と共働し、公共エリアの地域美化を推進する仕組みを検討した。	アダプトプログラム登録団体と共働し、公共エリアの地域美化の現状を把握した。	A	アダプトプログラム登録団体の活動内容に応じた清掃道具の貸与を行った。	A	アダプトプログラム登録団体の活動内容に応じた清掃道具の貸与を行った。	47	
	18	安全な水の供給	宗像地区事務組合との連携による安全な水の供給	宗像事務組合	毎年水質検査計画に基づき、水質検査を実施し、その結果の実施報告書を事務組合のホームページで公表する。	水質検査計画に基づき、継続的な水質検査の実施により、安全な水の供給ができた。	毎年計画に基づき、水質検査を実施。市民へ公表を行い、検査結果を次年度の水質検査へ反映させた。	毎年計画に基づき、水質検査を実施し水質の把握ができていない。	A	水質検査計画に基づき安心安全な水道水を継続的に供給できた。また水質検査結果について、HP等により市民へ公表を行っている。	A	水質検査計画に基づき安心安全な水道水を継続的に供給できた。また水質検査結果について、HP等により市民へ公表を行っている。	48	
			地下水の水質検査の定期的な実施による実態把握	うみがめ課	市内を1キロ四方メッシュで分割し、計52地区について調査実施。今後も、同地区で調査を実施し経年変化をしっかりと確認する。	地下水の水質検査の定期的な実施を実施した。	地下水の水質検査の実施箇所の検討を行った。	地下水の水質検査が実施できていない。	A	毎年、検査を実施し、現状を把握ができていない。	A	毎年、検査を実施し、現状を把握ができていない。	49	
	19	騒音・振動・悪臭対策	「福津市環境創造条例」に基づいた、騒音・振動・悪臭に関する適切な監視	うみがめ課	騒音・振動に関する特定施設の届出や特定建設作業の届出を義務付けており、今後も監視・指導等を行う。必要に応じて専門機関へ調査委託する。	騒音・振動に関する特定施設の届出や特定建設作業の届出を受け取り、市内の監視、調査、個別指導を行う。	騒音・振動に関する特定施設や特定建設作業の届出受付による状況把握、監視に努める。	騒音・振動に関する特定施設や特定建設作業の届出受付は行ったが、監視、指導は行っていない。	A	法に基づき実施しており、必要に応じて個別指導も行っている。	A	法に基づき実施しており、必要に応じて個別指導も行っている。	50	
			自動車交通に関する継続した調査の実施、実態把握	うみがめ課	騒音規正法の趣旨に基づき、主要道路（国道3号、国道495号、県道福岡宗像玄海線、市道四角両谷線）に面する地域の騒音調査を実施し、その環境基準の達成状況を把握する。	騒音規正法の趣旨に基づき、騒音調査を実施し、その環境基準の達成状況を把握した。	騒音規正法の趣旨に基づき、騒音調査の実施を検討した。	騒音規正法の趣旨に基づき、騒音調査が実施できていない。	A	調査を実施し、実態把握ができていない。	A	調査を実施し、実態把握ができていない。	51	
	20	大気の保全	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に則った、違法な野焼きや自家焼却の禁止の指導や啓発活動の実施	うみがめ課	現地指導や広報誌等を活用し、市民周知を図る。	継続的な広報等での周知等により、市民に広く周知され、市民からの野焼きの苦情通報が減った。	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に則った、違法な野焼きや自家焼却の禁止について、指導や啓発活動を実施した。	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に則った、違法な野焼きや自家焼却の禁止の指導内容や啓発内容について検討した。	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に則った、違法な野焼きや自家焼却の禁止の指導や啓発活動が実施されていない。	A	広報等での周知、野焼きの通報があれば、現地にて指導を実施した。	A	広報等での周知、野焼きの通報があれば、現地にて指導を実施した。	52
			大気汚染状況などの継続的な調査結果の収集、実態把握	うみがめ課	国や県の大気汚染状況などの継続的な調査結果を定期的にホームページで収集し、環境基準を超えている光化学オキシダントに対して、市のホームページや放送などでの注意喚起の継続的な実施する。	大気汚染状況などの調査結果を継続的に収集、実態の把握を行い、市民に情報発信を行った。	大気汚染状況などの調査結果を継続的に収集し、その実態を把握した。	大気汚染状況などの調査結果を継続的に収集・把握する仕組みを検討した。	大気汚染状況などの調査結果を収集、実態把握を行っていない。	A	環境基準超過時は、市のホームページや防災行政無線の活用、関係課との連携体制により市民へ周知し、市民への注意喚起を行える体制をとったが、超過する事態が発生しなかった。現状の体制を維持する。	A	環境基準超過時は、市のホームページや防災行政無線の活用、関係課との連携体制により市民へ周知し、市民への注意喚起を行える体制をとったが、超過する事態が発生しなかった。現状の体制を維持する。	53
	21	環境教育・環境学習の機会の充実	福津市の豊かな環境を活用した環境教育・学習機会の推進	うみがめ課	小中学校の共通カリキュラムにおいて、地域に根差した環境学習や環境保全活動を取り組む。教育機関で出前講座などの積極的な実施、教育機関に対する環境学習実施の支援を行う。	市内の様々な自然環境を活用し、環境保全団体などと共働して市民に対する環境教育・学習の機会が定着している。	市内の様々な自然環境を活用し、市民が環境教育・学習に参加する機会を提供している。	市内の様々な自然環境を活用して、市民が環境教育・学習に参加する機会を提供していない。	A	小中学校へごみ学習を含めた環境学習を継続的・積極的に提案し、市民団体や地域コーディネーター、事業者と共働して環境教育・学習の機会を提供した。	A	小中学校へごみ学習を含めた環境学習を継続的・積極的に提案し、市民団体や地域コーディネーター、事業者と共働して環境教育・学習の機会を提供した。	54	
			SNSなど誰でも情報を入手できるツールを利用した、まちづくり講座出前編などの環境学習実施に関する情報の提供	郷育推進課	郷育カレッジやまちづくり講座出前編の情報を、SNSやホームページに掲載する。	市民も参加できる市のホームページやSNSが活用され、市内での環境学習や保全活動の取り組みに関する情報が発信・交換されている。	市のホームページやSNSを活用し、市内での環境学習実施に関する情報が発信されている。	市内での環境学習実施に関する情報発信のため市のホームページやSNSの活用について検討されていない。	A	郷育カレッジやまちづくり講座出前編の情報を市ホームページに掲載し情報の提供を行った。郷育カレッジや郷育推進課での事業やイベントについて、FacebookなどのSNSで情報提供を行った。Facebookを用いて、情報発信にとどまらず双方向や受け手による情報の交換・発信を行っている。	A	郷育カレッジやまちづくり講座出前編の情報を市ホームページに掲載し情報の提供を行った。郷育カレッジや郷育推進課での事業やイベントについて、FacebookなどのSNSで情報提供を行った。Facebookを用いて、情報発信にとどまらず双方向や受け手による情報の交換・発信を行っている。	55	

施策	施策名	市の取り組み	担当課	実施計画 (具体的施策及び方針)	評価基準				評価点	評価の理由と改善策	評価点	評価の理由と改善策
					A+	A	B	C				
					100%以上	100%	50%	0%				
環境教育・環境保全活動と共働のしくみづくり	22	環境保全活動の支援	うみがめ課	市内の教育機関で出前講座などの積極的な実施、教育機関に対する環境学習実施の支援	市内の教育機関を対象とした環境学習が実施できるよう、指導者の紹介や出前講座などの支援の体制があり、取り組みが定着している。	市内の教育機関を対象とした環境学習が実施できるよう、指導者の紹介や出前講座などの支援の体制があり、実施されている。	市内の教育機関を対象とした環境学習支援の体制が検討されているが実施されていない。	市内の教育機関を対象とした環境学習支援の体制が検討されていない。	A	教育委員会や地域コーディネーターと連携し、市内の小学校5校、中学校2校計297名への出前講座を実施した。	A	教育委員会や地域コーディネーターと連携し、市内の小学校5校、中学校1校計872名への出前講座を実施した。
			うみがめ課	補助金制度に関する情報の提供など、環境保全活動の支援	国や県の補助金制度に関する情報などを収集し、環境保全活動に取り組む団体に提供して情報提供を行い支援する。	国や県の補助金制度に関する情報などを収集し、環境保全活動に取り組む団体に提供して情報提供を行った。	国や県の補助金制度に関する情報などを収集し、環境保全活動に取り組む団体に情報を提供した。	国や県の補助金制度に関する情報などを収集し、環境保全活動に取り組む団体に情報を提供した。	A	継続して補助金制度の情報を収集した。提供対象者を整理し、各郷づくり推進協議会や市民団体への情報提供を行った。	A	継続して補助金制度の情報を収集した。提供対象者を整理し、各郷づくり推進協議会や市民団体への情報提供を行った。
			うみがめ課	福津市内で環境保全活動を行っている団体の情報共有の場の設置	環境シンポジウムやトラスト会議などを開催し、情報共有の場として活用していく。	福津市内で環境保全活動を行っている団体の情報共有の場の設置を行った。	福津市内で環境保全活動を行っている団体の情報共有の場の設置を検討した。	福津市内で環境保全活動を行っている団体の情報共有の場の設置をしていない。	A	環境フォーラム、環境シンポジウムにおいて、市民団体から情報提供してもらうなど、情報共有できる仕組みを構築できている。	A	環境フォーラム、環境シンポジウムにおいて、市民団体から情報提供してもらうなど、情報共有できる仕組みを構築できている。
			うみがめ課	市民、市民団体、事業者、教育・研究機関を対象とした環境に関する学習機会の提供	郷育カレッジやまちづくり出前講座、環境シンポジウムなどの環境に関する学習機会の提供を実施していく。	市民、市民団体、事業者、教育・研究機関などが市内の環境に関する学習に関する情報を入手でき、参加する機会が提供されている。	市民、市民団体、事業者、教育・研究機関を対象として、環境に関する学習の機会が提供されている。	市民、市民団体、事業者、教育・研究機関を対象として、環境に関する学習に参加する機会が検討されている。	A	郷育カレッジやまちづくり講座出前編、環境フォーラム、環境シンポジウム、小中学校への環境学習の提案など、継続的に学習機会を提供できている。	A	郷育カレッジやまちづくり講座出前編、環境フォーラム、環境シンポジウム、小中学校への環境学習の提案など、継続的に学習機会を提供できている。
23	自然と親む環境づくり	観光振興課	大峰山や津屋崎干潟、宮地嶺遊歩道、西郷川など、グリーンツーリズムやエコツーリズムを考慮した環境づくりの実施	それぞれの自然環境の場や施設などの管理や環境整備を続け、グリーンツーリズムやエコツーリズムとして自然と親しむ環境づくりに活用できるようにする。	市内の自然環境をグリーンツーリズムやエコツーリズムの場として活用できるように、環境づくりが進められた。	市内の自然環境をグリーンツーリズムやエコツーリズムの場として活用できるように、環境づくりについて検討されている。	市内の自然環境をグリーンツーリズムやエコツーリズムの場として活用するための環境づくりについて検討しているが、実施はできていない。	A	「福津暮らしの旅」や観光協会補助事業「宮地嶺トレッキング」などを通して、市内の自然環境をグリーンツーリズムやエコツーリズムの場として活用している。	A	大峰山自然公園内の園地や遊歩道、津屋崎干潟、宮地嶺遊歩道、市内海岸や河川などをエコツーリズムにも活用できるよう整備した。	
		文化財課	新原・奴山古墳群などの歴史的拠点を結んだ散策ルートマップの作成、周知	地域の方や環境団体の協力による自然環境情報を盛り込んだ新原・奴山古墳群など歴史的拠点を掲載した散策ルートマップを作成する。	市を訪れた人が散策ルートマップを活用できるようにした。	新原・奴山古墳群などの歴史的拠点を結んだ散策ルートマップを作成し、周知した。	新原・奴山古墳群などの歴史的拠点を結んだ散策ルートマップの検討ができていない。	B	理由：散策マップの作成を検討し、マップに必要な生物の写真などを一年間かけて集積した。 改善策：集積したデータをもとに、散策マップを作成する。	B	理由：環境団体から提供された情報を蓄積し、関係課と連携して散策マップの作成を検討した。 改善策：関係課と協議し、散策マップを作成する。	
24	人を育てる環境づくり	まちづくり講座出前編を活用した、環境教育プログラムや環境保全活動などの指導者の育成のための講座の開催	郷育推進課	まちづくり講座出前編を活用した、環境教育プログラムや環境保全活動などの指導者の育成のための講座が開講され、実際に指導者として環境教育や環境保全に関わる人材が育成された。	まちづくり講座出前編を活用した、環境教育プログラムや環境保全活動などの指導者の育成のための講座が開講されている。	まちづくり講座出前編を活用した、環境教育プログラムや環境保全活動などの指導者の育成のための講座について検討されているが、開講されていない。	まちづくり講座出前編を活用した、環境教育プログラムや環境保全活動などの指導者の育成のための講座について検討されていない。	A	福津市まちづくり講座出前編や郷育カレッジの講座の継続的な実施を行っており、知識を得る場を確保することで行動へつなげていく思いを持たせることができ、人材育成へとつなげる仕組みができていく。	A	福津市まちづくり講座出前編や郷育カレッジの講座の継続的な実施を行っており、知識を得る場を確保することで行動へつなげていく思いを持たせることができ、人材育成へとつなげる仕組みができていく。	
25	人的ネットワークの構築	シンポジウムのような、情報提供の場の継続的な実施	うみがめ課	年1回の開催を目標に、毎年の振り返りを行い、内容、対象、場所を選定し、環境保全活動に関する取り組みや地域の状況について、市民団体間の情報共有が図れるシンポジウムを実施していく。	シンポジウムに参加した市民や市民団体間につながりが生まれ、活動への参加・展開が促進された。	市民や市民団体などが参加し、情報を共有できるシンポジウムのような場を継続的に提供できている。	市民や市民団体などが参加し、情報を共有できるシンポジウムのような場を提供できている。	A	市民、市民団体、事業者などが参加した環境フォーラムや環境シンポジウムの開催を継続できている。	A	市民、市民団体、事業者などが参加した環境フォーラムや環境シンポジウムの開催を継続できている。	
26	共働の拠点づくり	市民団体などと連携による共働の拠点を活用した環境保全活動の支援	うみがめ課	共働の拠点を活用し、環境保全活動の情報発信ができる場の機会を設けるなどの支援を行う。	市民団体などとの連携による共働の拠点を活用した取り組みにより、団体間の情報発信や共有の支援を実施することができた。	市民団体などとの連携による共働の拠点を活用した取り組みの内容を検討し、団体間の情報発信や共有の支援を一部行った。	市民団体などとの連携による共働の拠点を活用した取り組みの内容が検討できていない。	A	松林や干潟、大峰山など、市民団体と連携による共働の拠点を活用した保全活動を推進できるように環境学習や啓発イベント等で情報提供の場を設けた。	A	松林や干潟、大峰山など、市民団体と連携による共働の拠点を活用した保全活動を推進できるように環境学習や啓発イベント等で情報提供の場を設けた。	
27	多世代の人々の活躍の場の提供	市民団体による環境保全活動の情報の発信	うみがめ課	環境フォーラムやシンポジウム等で情報の発信を行う。	市民団体が環境保全活動の情報を発信できる場や仕組みを構築し、運用している。	市民団体が環境保全活動の情報を発信できる場や仕組みを検討している。	市民団体が環境保全活動の情報を発信できる場や仕組みについて検討されていない。	A	環境フォーラム、環境シンポジウムなどにおいて、市民団体の活動の取り組みを広く情報発信した。	A	環境フォーラム、環境シンポジウムなどにおいて、市民団体の活動の取り組みを広く情報発信した。	
		福津暮らしの旅や郷育カレッジの講座のPR活動による参加の促進	観光振興課 郷育推進課	ラジオ、SNS、広報紙や大型商業施設において広報周知を図る。	福津暮らしの旅や郷育カレッジの講座が、多世代が交流できる場として機能している。	福津暮らしの旅や郷育カレッジの講座の情報を広く発信し、多世代の人々が参加している。	福津暮らしの旅や郷育カレッジの講座の情報を広く発信しているが、参加者の年齢層に偏りがある。	福津暮らしの旅や郷育カレッジの講座の情報を広く発信できていない。	A	市広報紙や市ホームページ、SNS等を活用して情報発信及び周知を図った。	A	市広報紙や市ホームページ、SNS等を活用して情報発信及び周知を図った。